

NHK 放送センター建替工事に関する技術審査委員会総評

放送センター建替工事にあたり、運用中の放送センターからの放送継続を確実にできるようなためには、設備配管・配線等の経路変更や狭い敷地での建築工事など、極めて高度な専門性と施工計画が求められ、また、これを推進する一貫した責任体制を築くことが重要である。そのため、NHK は基本設計の段階から施工会社の技術力を求めることのできる「設計・施工一括発注方式」を採用した。

設計・施工業者の選定にあたっては、「総合評価落札方式」を採用し、基本計画に掲げられた基本コンセプト・基本方針を基に、6つの評価項目を設定し、幅広く技術提案を求めた。

その結果、提出された4グループの技術提案は、いずれも本建替工事への熱意が感じられるものであり、応募者の技術力の高さが反映された質の高い提案であった。

しかし、応募者のうちNHKが指名停止とした者が代表者を務める3つのグループが失格となったため、ヒアリングに進んだ応募者は1グループのみとなった。

ヒアリングに進んだ応募業者の提案に関して、特に強靱で長持ちする建物や街づくりとの調和については、将来へのフレキシビリティを確保しつつ、免震+制振構造の強靱な建物を実現し、地域への貢献とセキュリティを両立する提案であった。

本委員会の答申内容と、入札参加者が示した入札価格を、総合的に評価して落札者が決定された。技術審査委員会では、強靱で長持ちする建物や創造性を生み出す空間、働き方改革に則った工程計画など、技術提案内容を高く評価している。設計にあたっては、世界を代表する公共メディアの、防災・減災報道の拠点として誇れる放送センターの建設に向け、引き続き、周辺の街づくりとの調和や放送の確実な事業継続などの諸課題についても、NHKと落札者が協力して取り組むことを期待する。

平成30年5月

NHK 放送センター建替工事に関する技術審査委員会
委員長 深尾 精一